

活動報告

第43回 睦Community秋祭りを終えて

秋祭りには、多くの皆さんのご参加をいただきましたことに主催者として厚く御礼申し上げます。ここ数年のお祭りでは夕立にみまわれ、開催期日の設定に悩みながらの準備でした。今回は、準備期間から秋祭り当日、そして後片付けまでまずまずの好天に恵まれ運営も円滑に進みました。

何より会員の皆様に楽しんでいただけたことが最大の喜びです。広場いっぱいの座席も満席になり、自治会の交流も活発にされていました。出演された皆さんの熱演も感動的でした。特に活発な子供たちの、純真無垢な演奏や演技には胸に迫るものがありました。育成会の皆さんのお神輿やメッセージで祭りが一層盛り上りました。お祭は地域のCommunity活動の華であり、未来の活性化のエネルギーを感じたところです。

また、今回の秋祭り開催にあたり、地域の商店や会社などから協賛金や各種品物のご提供、そしてご支援をいただき、誠にありがとうございました。最後まで参加していただきましたご来賓の方々、会員の皆さんのご協力に心からお礼を申し上げ、御礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。～ コミュニティ会長：中島 光男、秋祭り実行委員長：武井 博～



壬生町母親クラブ かんぴょう食育

8月23日、『地元名産品かんぴょうを子ども達にもっと知ってもらいたい！』を目的に、食育教室を開催しました。

畑ではゆうがおを持ち上げたり、栽培について学び、農家宅では機械剥きや手鉗剥きを体験。上手に長く剥ける子もそうでない子も真剣に取り組みました。

保健福祉センターでは、かんぴょうをより食べやすくアレンジしたメニュー9品目を試食。無漂白かんぴょうは下茹が要らないことを学び、かんぴょう料理に対する考えに変化があった様です。

ご指導頂いた農家さん、調理して頂いた主婦のみなさん、食育応援団のみなさんありがとうございました。

追伸、母親クラブでは子ども好きなボランティアを募集しています。



活動報告

第2回「かんぴょう音頭・踊り大会」 藤井干瓢音頭保存会

8月29日、藤井干瓢音頭保存会の第2回「かんぴょう音頭・踊り大会」が食堂駐車場で地域住民約100人が参加して開催されました。保存会が指導している藤井小学校の子どもたちも元気な顔とお囃子で会場を盛り上げました。

かんぴょう音頭は、今から約60年前、藤井地区だけで栽培されているかんぴょうを残そうと作られたものです。保存会では、「今後もかんぴょう音頭を後世に残し伝承していくために後継者の育成に力を入れていくと共に、更なるレベルアップを目指すために練習を重ね、皆様にかんぴょう音頭の楽しみが伝わるよう頑張ります」と話しています。



NPO 夢くらぶむつみ

“みんなで 魚が棲めるきれいな黒川に！” ～町児童館、3保育園児参加による水棲昆虫調べ～

NPO夢くらぶむつみの「黒川にサケを呼び戻す会(代表:荒川富夫)」は、8月5日に、しののめ親水公園川原で、町児童館とありんこ、森の子およびメリーランド保育園の児童、園児及び関係者など150人が参加し、「黒川の水棲昆虫調べ」を実施しました。

これは、黒川にサケが遡上し産卵できるような清流を取り戻すために毎年実施しているもので、今年で第8回目となります。

当日は、元栃木農業高校の一杉先生の指導のもと、子どもたちは、黒川の浅瀬で川底の石をひっくり返し、カゲロウの幼虫、トビゲラおよび川ゲラなど、比較的汚れの少ない川に生息する水棲昆虫を探取し、先生の説明に興味深く耳を傾けていました。

最後は、参加者全員で、川原のゴミ拾いを行い帰途につきました。

